1 枚目

(X F)						
工事設計書						
1	無線局の区別					
	装置の区別	番号	第 装置			
2		予備送信装置				
		現用装置の番号				
	通信方式コード又は送信の方式 コード					
4	通信路数					
	発射可能な電波の型式及び周波 数の範囲					
	定格出力(W)					
	低下させる方法コード					
	低下後の出力(W)					
	変調方式コード					
5 送	発振コード					
信機	終段部の真空管又は半導体コー ド					
	電力東密度(dBW/Hz/m²)					
	最大電力密度(dBW/Hz)					
	製造者名					
	型式又は名称					
	製造番号					
6 受信機	区別		□送信機と同じ			
	低雑音増幅器	利得(dBi)				
		雑音温度(K)				
	通過帯域幅					
	雑音温度(K)					

2枚目

7	無線局の区別										
	8 空中線系番号										
,	9 空中線	空中線型式等		送受の別コード 基本コード 付加コード 偏波面コー						ド	
		電力半値	ビーム幅 (度)								
		指向確度	(度)								
		利得 (dB:	利得 (dBi)		送信				受信		
		口径(m)									
空中線系		雑音温度(K)									
称系	10	給電線損	給電線損失 (dB)		送信						
	給電	共用器損	失 (dB)	送信				受信			
	線等	その他損失 (dB)		送信				受信			
	11 発射する周波数等			•			•				
	12 受信する周波数										
	13 空中線系に関するその他 の事項		□構成が複雑で記載が困難なため、構成を別に添付する。								
	種別規格			7.	式		数量	電力	配分	補足事項	
14											
電源											
設備	予備電源の有無										
			□有	□無	– ド		I	建 豆	事項		
									佣化	: 尹快	
15	附属	附属装置									
16	電波	発射停止場	· 世	□有	□無	方式	及び性能				
17	軌道又は位置の変更機能			□有	□無	方式	及び性能				
18	その他の工事設計			□電波法第3章に規定する条件に合致する。							
19	添付図面			□無線設備系統図又は送受信機系統図□電源系統図□地表面の利得コンタ図□業務区域を示す図							
20) 備考										

<u>枚目</u> 21	無線局の区別						
	人工衛星の名称			周波数帯			
	トランスポンダ 番号	ビーム名	中心周波数	周波数帯幅	偏波面コード	補足事項	
22							
周波数配列情報							
列情報							

4枚目

A工衛星の名称	<u>収口</u>										
24 空音通信機会情報	23	無線局の区別									
24 宇宙通信概念情報		人工衛星の名称									
宇宙通信概念情報		アップリンク/ダウンリンクの別		回線の使用目的	周波数带	地球局の形態	配置エリア				
宇宙通信概念情報											
宇宙通信概念情報											
宇宙通信概念情報											
宇宙通信概念情報											
宇宙通信概念情報											
	宙通信										
	1概念情報										
補足事項		補足事項		1			I				

25 無線局の区別 実効輻射電 力又は等価 等方輻射電 トランスポ 周波数番号 電波の型式 周波数 空中線電力 補足事項 ンダ番号 力 26 発 射 す る電 波 \mathcal{O} 型 式、 周 波数及び空中線電 力